

# CIR Insights Vol.9

[東北大学生・教職員のための教育データレポート]

## 2019年秋号 学修成果編

今回のCIR Insightsでは、学士課程卒業時及び大学院修了時の学生を対象として隔年で実施している「東北大学の教育と学修成果に関する調査」の結果を取り上げました。2019年3月に実施した最新の調査は、各種知識技能や教養などの16項目について、「現在の自分の実力」と「東北大学での学修が実力の形成に貢献した程度」を尋ねる構成でした。この調査には3,124名の卒業・修了生からの回答がありました(回答率:66.3%)。各課程の結果を比較すると、課程が上になるほど、実力も貢献度も平均値はほぼ伸びており、両方が向上していく傾向が読み取れます。学部ごとの集計など、より詳しい結果をご希望の場合は、教育評価分析センターにお問い合わせください。

### CIRとは?

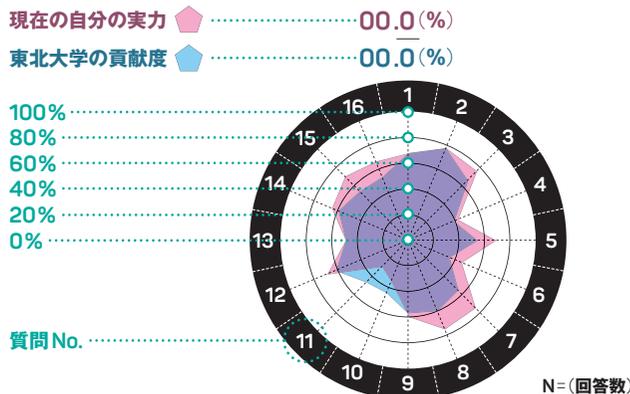
教育評価分析センターのこと。東北大学における教育・学習活動の体系的なデータ収集・分析を行い、本学の教育マネジメントを支援する組織です。

東北大学  
高度教養教育・学生支援機構  
教育評価分析センター

〒980-8576 仙台市青葉区川内41  
Tel: 022-795-4931  
Fax: 022-795-4749  
E-mail: cir@ihe.tohoku.ac.jp  
http://www.cir.ihe.tohoku.ac.jp

### 東北大学学修成果チャート

以下のチャートは、学修成果に関わる調査項目について、各質問の「ある・少しある/高い/やや高い」の好意的な回答の割合を示したものです。ピンク色が「現在の自分の実力」、青色が「東北大学での学修が実力の形成に貢献した程度」をそれぞれ表しています。

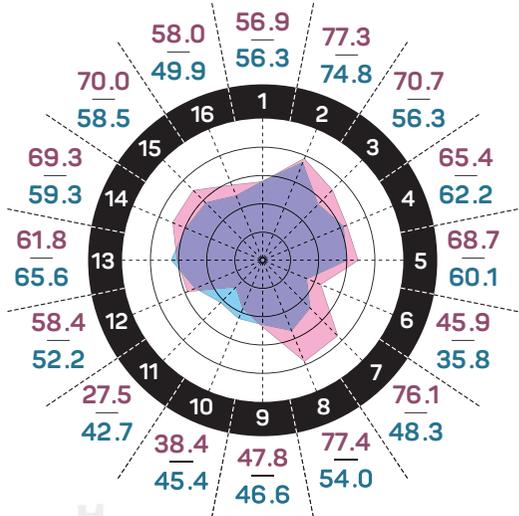


### 質問内容

- Q1: 専門分野以外の幅広い教養
- Q2: 専門分野に関する知識や技能
- Q3: 批判的に考える能力
- Q4: 数理的に物事を分析する能力
- Q5: 問題を発見し解決する能力
- Q6: リーダーシップの能力
- Q7: 他者を理解し意思疎通する能力
- Q8: 他者と協力して物事を遂行する能力
- Q9: 異文化の人々と協力する能力
- Q10: 英語の運用能力
- Q11: 初修外国語で学んだ言語の運用能力(学士)  
英語以外の外国語の運用能力(修士・博士)
- Q12: 文章表現の能力
- Q13: プレゼンテーションの能力
- Q14: 自主的かつ自律的に学習する能力
- Q15: 困難な課題に挑戦する意欲
- Q16: 現代社会が直面する問題に関する知識

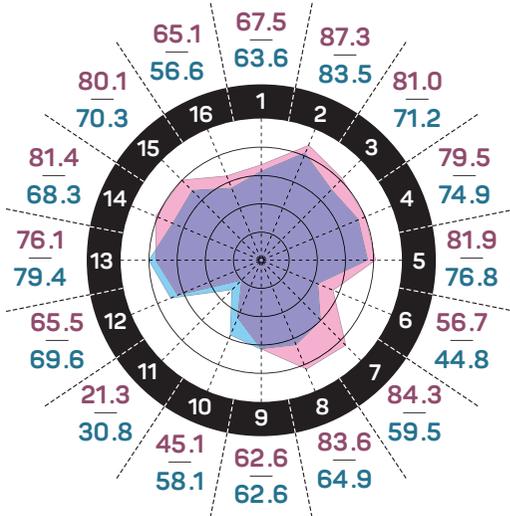
### 学士

評価の平均値



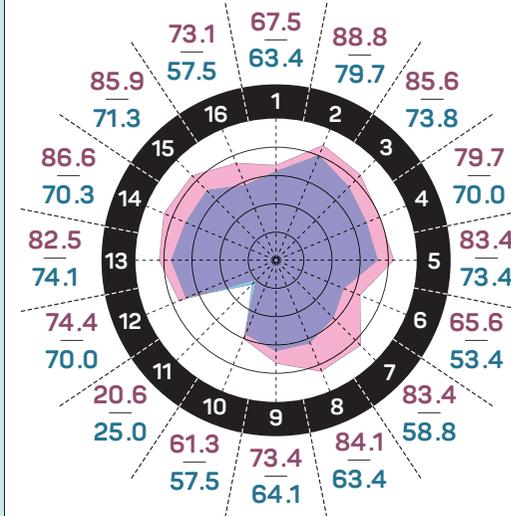
### 修士

評価の平均値



### 博士

評価の平均値



➔ 詳細は「第4回 東北大学の教育と学修成果に関する調査」報告書に記載されています。そちらも併せてご覧ください。

## 東北大学の教育に対する卒業生のコメント

勉強が楽しいことを教えてくれたのは、東北大学です。ありがとうございました。(文学・学士)

グローバル授業がとても楽しく、成長することができました。(経済・学士)

今後も素晴らしい教育をよろしくお願いします!(理学・学士)

授業の内外で学習を促進、深める機会を数多くいただきました。物事を複合的かつ批判的に観察し、新たな課題を見出し追究する能力をふかめられたように思います。(医学・学士)

今多様な国籍、多様な経歴な方々がいて、良い環境が生まれる歴史があると感じました。(歯学・博士)

研究室の存在が大きかった。研究室に入ってから自分で考える力やプレゼンテーション能力など社会人に必要なことを学ぶ機会が多くなり、自分でも分かるくらい実力がついたと思う。(薬学・学士)

研究に対する環境、及び周囲のモチベーションが高く、充実した2年間だった。(工学・修士)

仕事をしながらの勉学で不安したが、事務の方々も皆さん親切で無事終了できました。感謝申し上げます。(農学・博士)

先生方、並びに職員の方々のサポートは非常に充実していて、研究、学習活動に集中して取り組める環境にあったと思います。ありがとうございました。メールでのセミナーやイベントの周知は大変ありがたかったので、これからも継続して頂きたいです。(情科・修士)

I enjoyed my stay at Japan and Tohoku University very much Thank you so much (情科・修士)

物事を多面的に考える授業が多くあり、とても興味を深めることができた。(環科・修士)

研究設備、教育環境が整っており、とても充実した時間を過ごすことができました。(医工・修士)

## CIRが実施する調査のご紹介

CIRでは、過去に実施した調査報告書を配付しております。

入手をご希望の方は下記のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。

[**お問い合わせ**]教育評価分析センター →→→ [cir@ihe.tohoku.ac.jp](mailto:cir@ihe.tohoku.ac.jp)



2019年  
3月  
実施

### 東北大学の 教育と学修成果に関する 調査報告書

東北大学の教育改善を図る取り組みの一環として平成24年度より調査開始。本学全体および各学部・研究科における学修成果がいかなる特徴を持ち、それがどのような背景に因るものであるかを中心に分析を実施。東北大学生の学修成果の現状を正確に把握し、将来を展望するための一素材としてご活用いただける内容となっています。

#### [目次]

#### 第1部 調査結果全体に関する分析

1. 「第4回東北大学の教育と学修成果に関する調査」調査概要と得られた知見
2. 学位授与方針と学修成果に関する認識の関係
3. 学修成果に影響を与える学修経験について

#### 第2部 各部署の結果に対する所見

#### 第3部 資料(基礎集計表、自由記述、調査票)

#### [既刊]

- 第1回東北大学の教育と学修成果に関する調査報告書(2013年3月実施)  
第2回東北大学の教育と学修成果に関する調査報告書(2015年3月実施)  
第3回東北大学の教育と学修成果に関する調査報告書(2017年3月実施)



2018年  
1月、3月  
実施

### 東北大学の教育に関する 卒業・修了者/雇用者調査報告書

東北大学にとって重要なステークホルダーである「卒業・修了者」と「雇用者」の意見や評価を収集し、教育学習改善に活かすことを目的に実施。卒業・修了後5年の本学出身者を対象にした調査では、調査時点での知識・能力とそれらを獲得する上での東北大学の貢献度や、学士課程教育に対する意見等を聞いています。雇用者調査は、本学学生の採用実績を有する「雇用者」(企業)を対象に、採用する学生に期待する力や本学出身者のイメージ等を尋ねた内容となっています。

#### [目次]

#### 第1部 各調査の概要と調査による知見

- ・各調査の概要
- ・本報告書の構成と調査から得られた知見・示唆

#### 第2部 各部署の結果に対する所見

#### 第3部 分析

- ・卒業生・修了生調査にみる東北大生の知識・能力について
- ・雇用者調査とその結果の概要
- ・雇用者調査  
2006年調査と2018年調査の比較検討
- ・東北大学の教育に対する雇用者からの期待  
—— 2006年調査と2018年調査の自由記述の内容から ——

#### 第4部 資料(基礎(クロス)集計表、自由記述一覧、調査票)

